

石川県生協連だより

第82号

石川県生活協同組合連合会
 〒920-0362 金沢市古府2-189
 コープいしかわ古府センター2F
 TEL076-259-5962 FAX076-259-5963
<http://ishikenren.jp>

発行日/2014年3月25日
 発行責任者/横山 和男

平成25年度
地方消費者グループ・フォーラム in 北陸

地方消費者グループ・フォーラムは平成22年から、地域で消費者問題に取り組む人々が、情報や意見交換など「交流」を行う場として全国8ブロックで開催されています。北陸ブロックは3県の持ち回り開催で、4回目の今回は石川県で開催し「みんなの力で安心な地域づくりを」をテーマに、講演・リレートーク・分散会・活動紹介展など多彩な内容で開催されました。

講演は、弁護士島田広さんによる「消費者教育の推進に向けて」体系イメージマップの活用と展開」でした。今日的意義として求められる「行動する消費者」をポイントにイメージマップ(年齢ごとに取組む有効な項目など)にお話はすみました。これらは国連消費者保護ガイドラインの「消費者の選択が環境、社会及び経済に及ぼす影響に関する教育を含む消費者教育」が基本にあるもの、と理解しました。

リレートークでは3県の報告があり石川県からは能美市婦人団体協議会会長の中川美子さんが、「女性目線で地域に根付いた活動を」を報告しました。各校下婦人会が地域の特徴を生かした「貸衣装事業」「葬祭事業」「喫茶事業」などで頼りにされる存在となっている活動報告でした。

最後に、この日一番のトピックは、家庭内における子どもの事故を未然に防ぐイメージソング「アブナイカモ」の披露でした。「長官、素敵」と会場から声がかかるほど阿南消費者庁長官の歌とダンスは楽しいものでした。

(コープいしかわ 組合員活動部 森 正子)



リレートークの様子



講師の島田弁護士



阿南消費者庁長官の挨拶



阿南長官の「アブナイカモ」のダンス



活動報告展示のブース



分散会の様子

●開催日時
 2013年11月18日(月)
 展示 12時～
 フォーラム 13時～16時30分
 石川県立音楽堂交流ホール

●開催場所

生協連の活動

金沢市市民防災訓練

●2013年8月25日(日)
●金沢市訓練実施地区
(十一屋地区、長土堀地区、小坂地区)



石川県生協連は金沢市と「災害時における食料及び生活必需物資の供給・確保に関する協力協定書」を締結しています。東日本大震災をうけ、地域においても一層の防災体制の強化が必要であることから、協定を締結している各団体との連絡会が開催され、市民防災訓練への参加要請を受けて、県生協連として初めて「金沢市市民防災訓練」に参加しました。十一屋地区では炊き出し用の「切り餅シングルパック200個の提供、長土堀地区では金沢エコライフくらぶの協力で非常時に活用できる保存食の紹介、小坂地区では、空き段ボールを80個用意し、3箇所避難所への物資の搬送や、自治会と一緒に緊急物資の搬入や手続き・整理・移動にかかわる実動訓練を行いました。

初めての参加でしたが、市や自治会とも連動し、実動訓練などができ、今後に生かせるさまざまな体験や経験ができました。また、白山市で開催された石川県総合防災訓練は、物資搬送訓練の準備をすすめていきましたが、台風の影響で延期になり参加することができませんでした。

今後もより一層地域での生協の社会的役割を発揮できるように、行政や地域とのつながりを大切にして取り組みをすすめていきたいと考えます。

(コープいしかわ 防災担当 鈴木茂信)

非常時に活用できる保存食の紹介



緊急物資の搬入や手続き・整理・移動に係る実動訓練の様子

生協連 行政懇談会を開催

●2013年10月17日(木)
●石川県庁会議室

今年度の生協連と行政の懇談会は、県民生活課より涌井信弘課長、危機対策課より小杉浩課長補佐、厚生政策課より野見佳賢課長補佐、他関係職員7名、県連・会員生協より14名の役員が出席しました。

各生協からは総(代)会の開催状況及び今年度の活動方針について報告し、石川県から県民生活課は指導検査の指摘事項、緊急物資協定の見直しについて、危機対策課は石川県地域防災計画(原子力防災計画編)、防災士養成について、厚生政策課からは地域福祉計画、生協に期待することについて報告や説明がされ、それぞれのテーマについて意見交換を行いました。



2013年度役職員研修会

●2013年7月24日(水)
●石川県地場産業振興センター

生協連では日本生協連会員支援本部法規会計支援室長の宮部好広氏を講師に「監事監査基準モデル学習会」を開催し、会員生協より監事・理事17名が参加しました。

「監事監査基準モデル学習会」で学んだこと

今年度から石川県生協連の監事となり、役職員研修会に初めて参加しました。

生協組織は、主に物販を中心にするもの、医療行為を中心とするもの等業態は色々あるが、それぞれの利用目的に合わせた生協に出資した組合員(利用者)の組織である。理事会は、組合員(利用者)の出資金を基に、その目的に合わせた運営方針(物販のみならず、社会運動なども含む)を組合員総代会に諮り決定し実行していくこと。

監事の仕事は、単なる会

計決算書の確認だけではなく、組合員への不利益が及ばないよう、理事会が総代会で決定された運営方針を着実に実行しているかを、理事会へ出席し注視点検することだと教えられました。

(生協連監事・金沢医療生協監事

野村 幸三)



講師の宮部 好広 氏

2013ピース・デーを開催!

●7月28日(日)
●金沢市卯辰山玉兎ヶ丘
「平和のすゝ像」前広場

今年で28回目を迎える2013ピース・デーは実行委員会構成団体および一般県民から約100名が参加し開催されました。

今年度は、「のまりん」こと野間成之さんによる紙芝居「はだしのゲン」を初上演。迫真の演技で参加者を魅了しました。(ライブ映像は「はだしのゲン」をひろめる会」のウェブサイトで見ることが出来ます。)

実行委

員会の構成団体からの活動報告、「でえげっさあ」の平和ミニコンサートも行なわれました。



のまりんの紙芝居「はだしのゲン」の上演

「原爆と人間展」開催!

●2013年8月5日(月)〜16日(金)
●石川県庁19階展望ロビー

夏休みの恒例行事となった「原爆と人間展」。帰省した家族連れや海外からの観光客も多いことから英語版と中国語版の解説を付け、漫画家故中沢啓治氏の体験をもとにした『はだしのゲン』の紙芝居も展示しました。『はだしのゲン』は良かったです。戦争はつらいと思いました。今は戦争がなくて本当に良かったと心から思います。」との感想のことがばや、親子で一枚ずつ見入るなど、好評を得ました。

オープニングセレモニーを初日5日に開催、石川県健康推進課課長相川広一氏より来賓

のご挨拶をいただき、交流コーナーではピーアスアニメ「つるにのって」を上映しました。



パネル展示の様子

厚生労働大臣表彰受賞 授賞式



●2013年10月24日(木)
●厚生労働省 講堂

厚生労働省では消費生活協同組合法制定65周年を記念し、健全な事業運営を行い、模範となる消費生活協同組合及び組合役員をたたえる厚生労働大臣表彰を実施しました。

石川県内より、個人では県生協連会長理事・コープいしかわ顧問の横山和男氏が、組合では金沢大学生生活協同組合が受賞しました。

横山会長理事は日本海重油災害、能登半島地震への救援物資や義援金などの復興支援や地域生協の合併の際にも精力的に取り組み「生活協同組合コープいしかわ」発足に尽力しました。また、県の各種委員を務め、生活協同組合の発展に貢献しました。

金沢大学生生活協同組合は総代意見交流会や総代試食会を実施し、組合員と意見交換を行い、民主的な運営がされていることや、いきいきフェスタなどの健康づくり活動やマイバッグ等の持参促進活動、デポジット式弁当容器の利用・回収などの環境活動を実施しています。

協同組合法制定65周年記念厚生労働大臣表彰式



金大生協坂口専務理事(左)と横山会長理事

商品開発事業の取組み

石川県生協連では、地方消費者行政活性化基金を活用した「事業者の商品企画・開発への消費者団体等の参画支援事業」を受託し「県産米粉を使った商品開発」に取り組んでいます。家族にアレルギーを持つ消費者の視点を活かした「おやつ」の開発をめざし、公募のモニターさん40人を対象に商品開発モニター説明会を開催しました。

●2013年11月14日(木) ●金沢勤労者プラザ研修室

○モニター説明会に参加して 商品開発モニター 本多 陽子

卵・乳が解除になった小麦アレルギーの4歳の息子をもつ母です。食べられるものが増えて家事が少し楽になったので、これまでの育児の経験を活かせると思い、意気込んで申し込みました。

モニターに参加するのは初めてのことで、とても緊張して会場に入りました。しかし始めてみると、講師の先生はアレルギーの会でお世話になっている武石先生。また、スタッフの方もこやかで、参加者の方も和やかにおしゃべりしており、雰囲気柔らかくとても安心して参加できました。実際に販売されている商品を手に取りながらの各テーブルでのワークショップでは、紙が埋まるかなという不安をあつさり消してしまうほど主婦同士で話が盛り上がり、ドキドキするほど楽しかったです。

とても楽しい時間を過ごさせていただきました。ありがとうございます。次の試食会がとても楽しみです。



ワークショップの様子



講師の城北病院 武石大輔医師